

第 2 回検討会に向けた中村委員（富山市副市長）のご意見

平成 29 年 3 月

本日は、議会日程との関係で出席ができず申し訳ありません。

事前に、あいの風とやま鉄道線「富山ー東富山間」新駅設置周辺モデル地区のまちづくりのあり方・方向性について資料を見せて頂きましたので、簡単にコメントを申し上げます。

富山市では、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを進めており、鉄道駅周辺の利便性の高い地区は居住・商業・業務等の都市機能を担う施設の立地が期待されます。

今回のモデル地区でも新駅が設置されれば、その周辺（概ね半径 500 m 程度）についても同様の考え方となります。

また、駅設置に伴い必要となるアクセス道路や駅前広場といった基盤整備が可能となるような配慮が必要です。

本地区については、市で土地利用を自ら行うものではないため、具体的にどのような施設をどこに、といったことはありませんが、周辺に既に住宅地となっている地区があるため、未利用地の活用にあたってはそうした地区への配慮が必要と考えます。

またパークアンドライド駐車場を設ける場合は利用台数の予測を行うこと、多数の発生集中交通が生じる土地利用を行う場合には、それに見合った基盤整備が必要となることに留意すべきと考えます。

以上です。